【危害・危険情報】

令和 2 年 6 月 12 日
生　活　文　化　局

雨の日の転倒事故に注意！

梅雨に入り、雨天の続く季節になりました。雨で路面等が濡れると滑りやすくなる場所があります。東京都が「降雨時の身の回りの危険」について、平成 25 年に行ったアンケート調査においても、様々な転倒事例がみられました。転倒事故を起こさないように注意しましょう。

事故、ヒヤリ・ハット事例

●雨が降っていた、濡れた道。タイルの道で、傾斜があり、普通のスニーカーのような靴で滑ってしまった。晴れている日はなんともない道だったので、濡れると滑るようだ。（30 代男性）

●外は雨が降っていたので、入った建物の床や階段が水で濡れ、足を取られ転びそうになった。（20 代男性）

●雨よけカバーをベビーカーに着けて道を歩いていたら、風にあおられてカバーが取れてしまい、そのまま風を受けてベビーカーが倒れそうになった。（30 代女性）

●雨の降っている日に、杖を持ち駅の構内を歩いていたら杖の先が滑って転倒した。（40 代女性）

事故を防ぐポイント

●マンホール、道路の白線、タイルの歩道等に注意！

雨で濡れると滑りやすくなる場所があります。滑って転ぶと、打撲・骨折等、思わぬ大ケガに結びつく場合があります。

●建物の中でも、濡れた床に注意！

駅、スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどでも濡れた床が滑りやすくなっている場合があります。

●ベビーカーでの外出は慎重に！

雨風が強いときは、雨よけカバーが風であおられる・傘を差しているため操作しづらい等の危険があります。雨の日のベビーカーの使用はなるべく控えましょう。やむを得ず使用する場合は、十分に注意しましょう。

●杖の使用も慎重に！

杖の先端のゴムは、接地面が小さいため、靴底などよりも滑りやすいです。また、ゴムが摩耗してくると危険性が高まりますので、早めに交換しましょう。

◎参考
《降雨時のヒヤリ・ハット調査》東京くらし WEB（平成 25 年 6 月 12 日）
https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/hiyarihat/rainy_130612.html

その他の危害危険情報はこちら。
東京くらしWEB
https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/kigai.html

問合せ先
東京都生活文化局消費生活部生活安全課
電話　０３－５３８８－３０８２